

NUXX



B-8 Wireless System 取扱説明書

安全上のご注意 必ずお守りください

■お使いになる人やほかの人への危害、財産への損害を未然に防ぐために、必ずお守りいただくことを説明しています。



- ・ **異常がある場合はただちに使用を中止する**：焦げくさいにおいがする、煙が出ている、物や液体が入ったなど、感電、火災の原因になります。直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店へサービスをご依頼ください。
- ・ **濡らさない**：感電、火災、故障の原因になります。
- ・ **内部に異物を入れない**：水や金属が内部に入ると、感電、火災、故障の原因になります。
- ・ **分解／改造はしない**：感電、火災、故障の原因になります。



- ・ **高温になる場所や熱のこもりやすい場所で使用、保管、放置しない**：火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などで使用、保管、放置しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
 - ・ **乳幼児の手の届く所に置かない**：サイズの小さな付属品などは飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。
 - ・ **強い圧力を加えたり折損させたりしない**：ポケットの中やカバンの中など強い圧力がかかる場所に保管しないで下さい。火災、やけど、けが、感電、故障の原因になります。
 - ・ **ぬれた手で使用しない**：感電、火災、故障の原因になります。
 - ・ **対応した電源アダプター以外を使用しない**：付属の電源アダプター以外は本製品ではご利用いただけません。故障の原因になりますので、電源アダプターは必ず本書で指定されたアダプターのみをご利用ください。
- ※廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

はじめに

NUX B-8 は、自動ペアリング・セットアップを備えた 24bit/48kHz の高音質な 2.4GHz ワイヤレスシステムです。

最新のテクノロジーを搭載し、ピークパフォーマンス時では 2.5ms の超低レイテンシーを実現しました。

エレキギター、エレキアコースティックギター、ベースギター、エレキピックアップを搭載した様々な楽器に対応します。

ユーザーフレンドリーなマッチングシステムにより、TX&RX の電源を入れるだけで、数秒以内に自動でペアリングが完了します。

各ワイヤレスセットには NUX 独自のペアリング・アルゴリズムが採用されており、自動的にお互いを検出し、独自の ID を作成します。

また、内蔵ブースターや、クロマチック / ギター STD / ギター CPS / ベースチューニングモードを備えたデジタルチューナーも搭載しており、ミュージシャンがステージで演奏する際に非常に便利です。

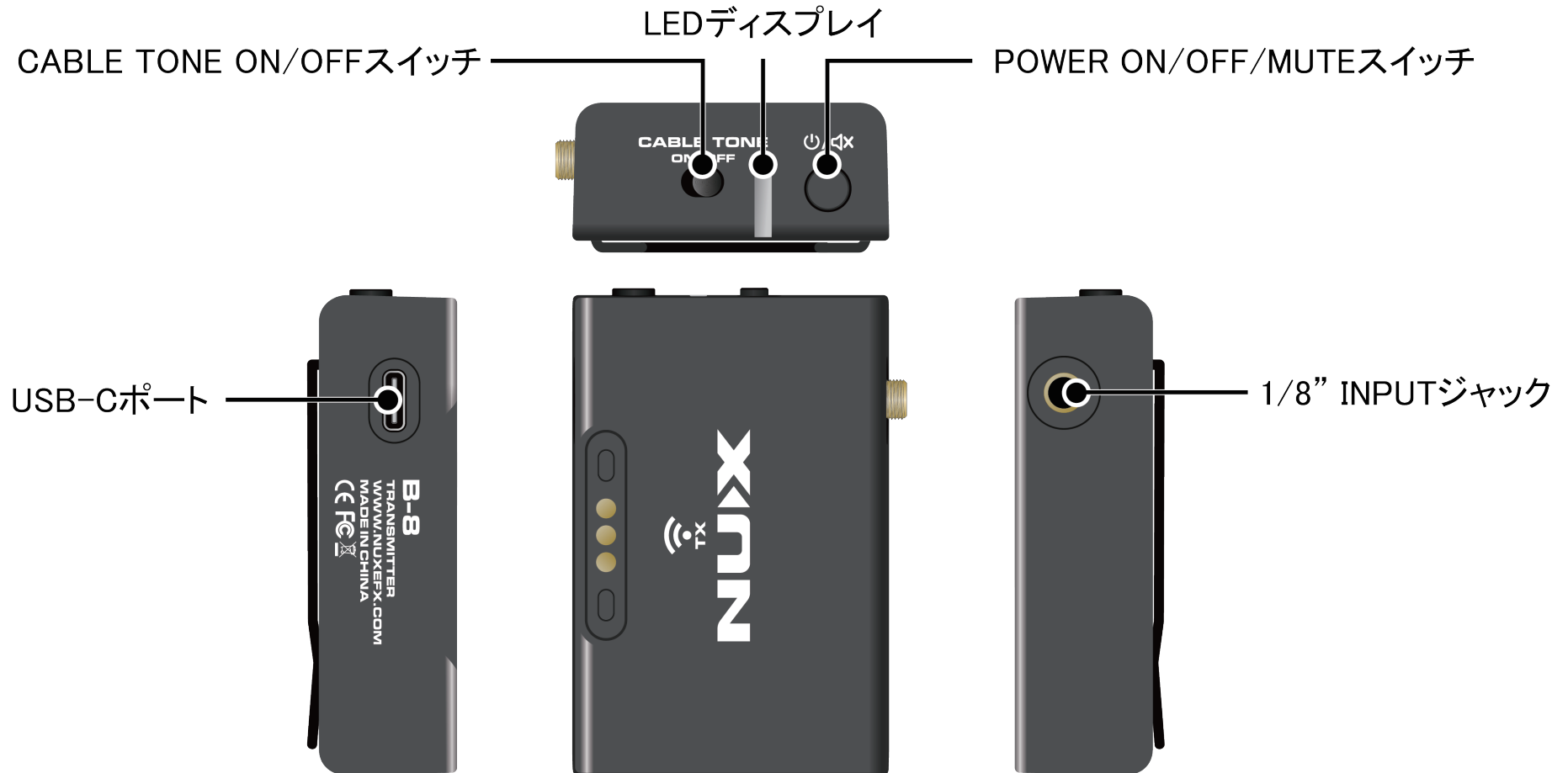
主な機能

- 周波数帯域；2400 - 2483.5MHz
- オーディオ品質：24bit/48kHz
- 伝送距離
 - 屋内：最大 60m(200 フィート)
 - 屋外：最大 50m(165 フィート)
- ※電波干渉の無い空間での使用を想定した理論値となります。
- 周波数特性：20Hz - 20kHz
- レイテンシー： $\geq 2.5\text{ms}$
- THD+ ノイズ：0.01%@1kHz 以下
- TX バッテリー：最大 6 時間
- チューニング精度： ± 1 セント
- チューニングレンジ：F#0 - C8
- チューニングモード：クロマチック / ギター STD / ギター CPS / ベース
- ブースト音量：0dB - 12dB

コントロールパネル&I/O ジャック

■TX(トランスミッター)

コントロールパネル&I/Oジャック



POWER ON/OFF/MUTE ボタン

このボタンを長押しすることでTXの電源ON/OFFが可能です。
TXの電源が入っていてRXとペアリングされている場合、このボタンを1秒長押しすることでオーディオ出力をミュートできます。

CABLE TONE ON/OFF スイッチ

TXにはケーブルトーンシミュレーションが搭載されています。
これにより、通常のケーブルを使用したときのようなウォームなサウンドを得ることができます。
このスイッチでケーブルトーンをONにできます。

LED ディスプレイ

LEDは下記の情報を表示します。

グリーン



グリーン：バッテリー残量 >75%

TXがペアリングモードの時はLEDが緑色に点滅します。

TXとRXが正常にペアリングされると、LEDが緑色に点灯します。

レッド



オレンジ：75% ≥ バッテリー残量 >50%

TXが充電中の際はLEDが赤色で点灯します。

レッド：50% ≥ バッテリー残量 >15%

点滅：15% ≥ バッテリー残量 >0%

TXがRXとのペアリングに失敗した際は、LEDが赤色で点滅します。

TXがミュートされている際は、LEDが赤色で点灯します。



1/8" INPUT ジャック

付属のケーブルを使用して、ギターなどの楽器の1/4"出力を接続します。

※この際、TX側のINPUTナットを締めてください。



USB-C ポート

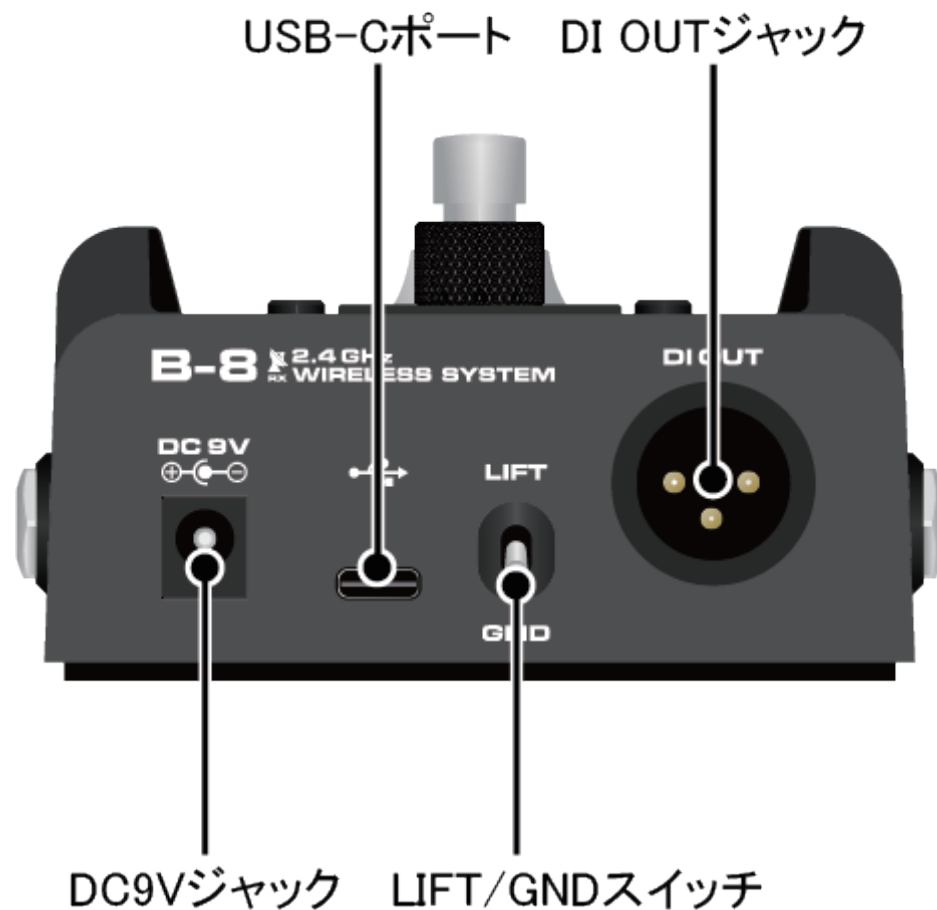
このUSB-CポートはTXを充電する際に使用します。
TXを充電する際は5V/500mA以上のアダプターを使用してください。

■RX(レシーバー)

コントロールパネル



I/Oジャック



LCD ディスプレイ

視認性の高いフルカラー LCD ディスプレイです。

HOME ボタン

このボタンを押すと HOME 画面に戻ります。

SELECT/PARA ノブ

このノブを押すことで設定画面に入ったり、設定を確定したりできます。

また、このノブを回すことでアイテムを選択したり、パラメータの調整ができます。

BACK TO ボタン

このボタンを押すと設定画面に戻ります。

フットスイッチ

チューナー (デフォルト)、またはブースターの ON/OFF が可能です。

DC 9V ジャック

付属の電源アダプターを接続し、RX の電源を入れます。

USB-C ポート

USB ケーブルを使用し、RX とコンピュータを接続出来ます。ファームウェアアップデートなどの際に使用します。

DI OUT ジャック

XLR バランス出力です。RX をアンプやミキサー、オーディオインターフェースなどにバランス伝送で接続することができます。

LIFT/GND スイッチ

DI OUT に対してリフト / グラウンドを切り替えます。

1/4" OUTPUT/SEND ジャック

この出力を使用して RX とアンプを接続します。

また、この出力を SEND として利用し、後述する RETURN ジャックと組み合わせ、エフェクトループを構築することも可能です。

1/4" RETURN ジャック

SEND 端子と組み合わせてエフェクトループを構築する際に、エフェクトペダルからの RETURN 信号を入力します。

1/4" RETURN OUTPUT ジャック

SEND/RETURN を使用してエフェクトループを構築した際、この端子を使用して RX とアンプを接続します。

1/4" INPUT ジャック

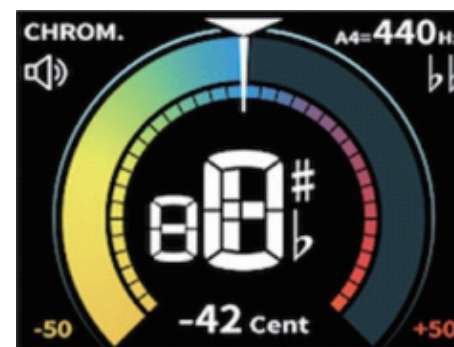
TX が電源 OFF の時、このジャックにギターやその他の楽器を接続できます。

このジャックに 1/4" ケーブルを接続すると、RX は自動的にケーブルを検知し、"CABLE IN" モードに切り替わります。

このモードでは、チューナー、ディスプレイ設定、チューナー設定にのみアクセスできます。



CABLE IN モード



チューナー

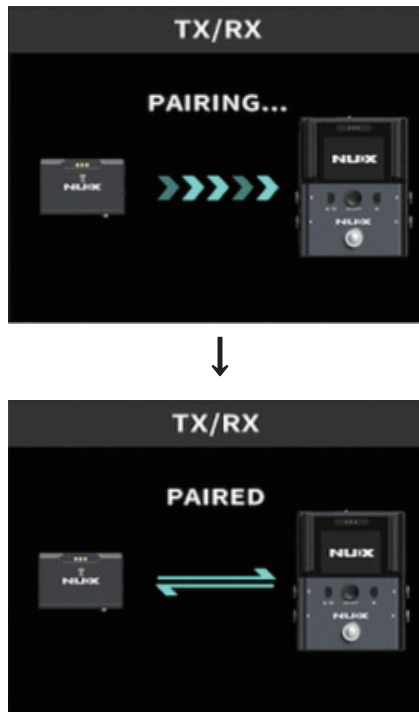


ディスプレイ設定

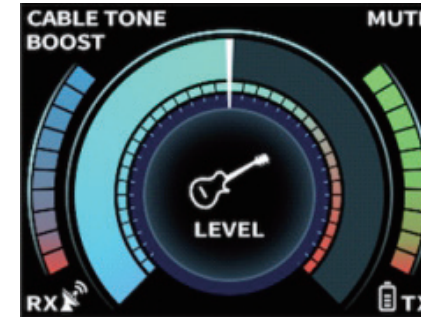
使い方

B-8 は工場出荷時に予めペアリングが行われています。
マッチングはとても簡単で、RX(レシーバー)とTX(トランスミッター)の電源を入れるだけです。
RXとTXは自動的にお互いを検知し、安定した接続を確立できる最適なチャンネルを選択してくれます。

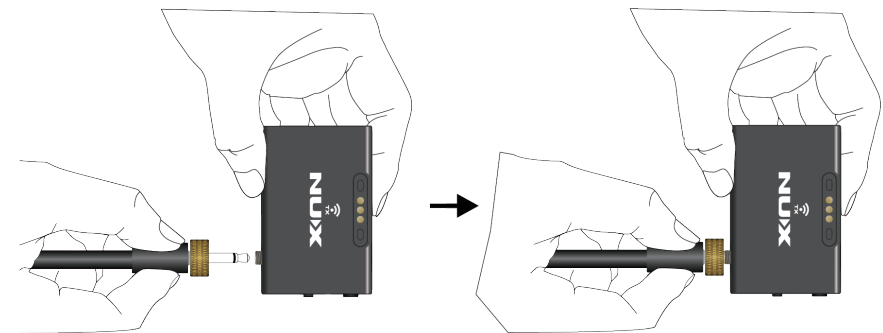
1. POWER ON/OFF スイッチを長押しし、TXの電源を入れます。次にRXの電源を入れると、自動的にTXとRXがペアリングされます。



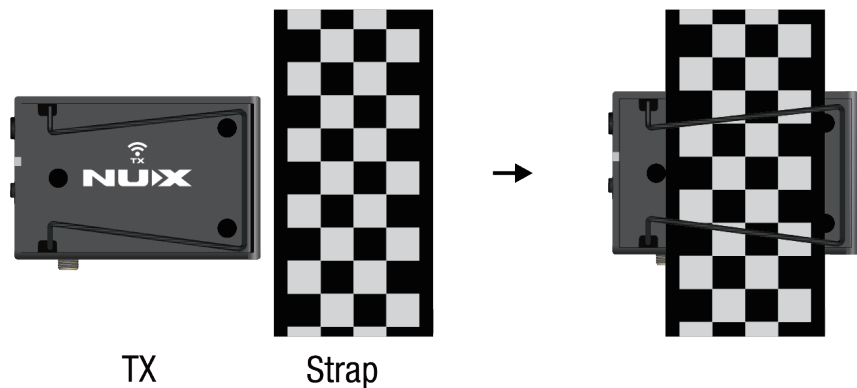
2. RXは信号の入力レベル、信号の電波レベル、TXのバッテリー残量を画面に表示します。



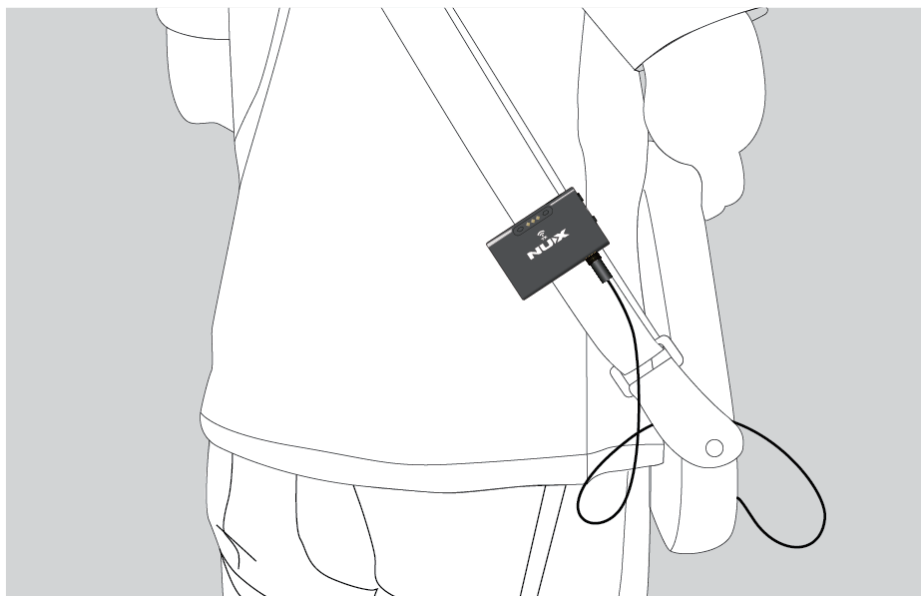
3. 付属ケーブルをTXの1/8"INPUTジャックへ接続し、ナットを回してTXに固定してください。



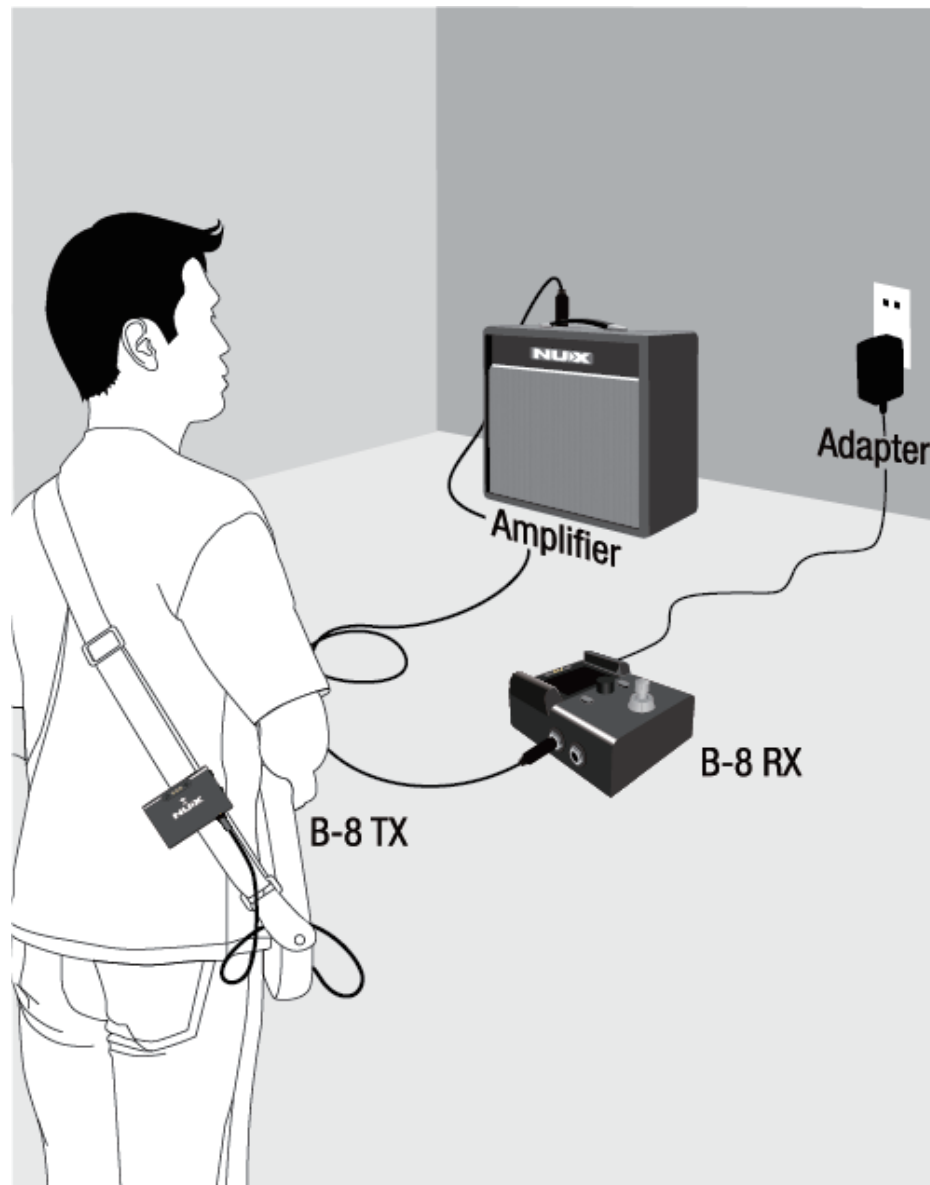
4. TX をストラップへ装着します。



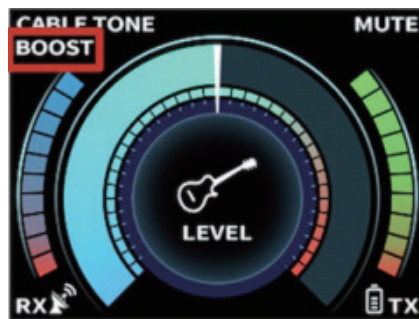
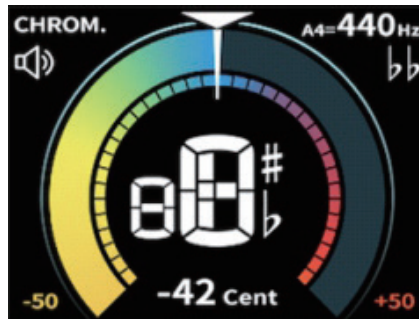
5. 最適な送信パフォーマンスを得るために、TX をストラップへ固定した状態でご使用ください。こうすることで、TX が体から離れ、送信に適した距離となります。



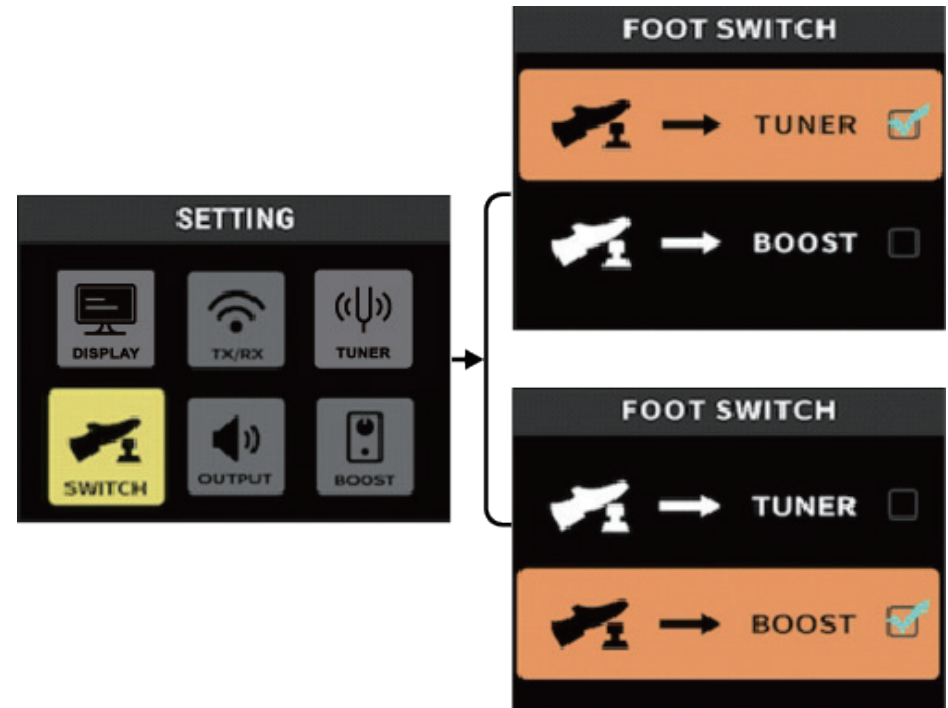
6. RX をアンプやミキサーに接続して、演奏を楽しんでください。

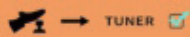


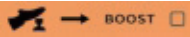
7. フットスイッチを押すと、チューナー、またはブースターを ON/OFF できます。



※フットスイッチによるチューナーとブースターの切り替えは、次のシステム設定から変更が可能です。



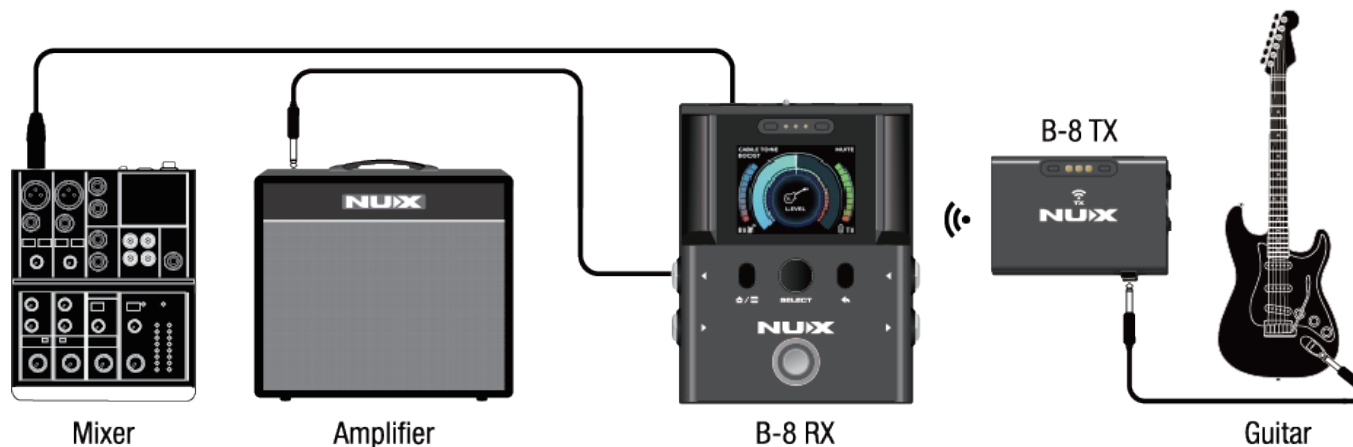
 を選択した場合は、フットスイッチを長押しすることでブーストを ON/OFF することができます。(ブーストアイコンがスクリーン上に表示されます。)

 を選択した場合は、フットスイッチを長押しすることでチューナーを ON/OFF することができます。

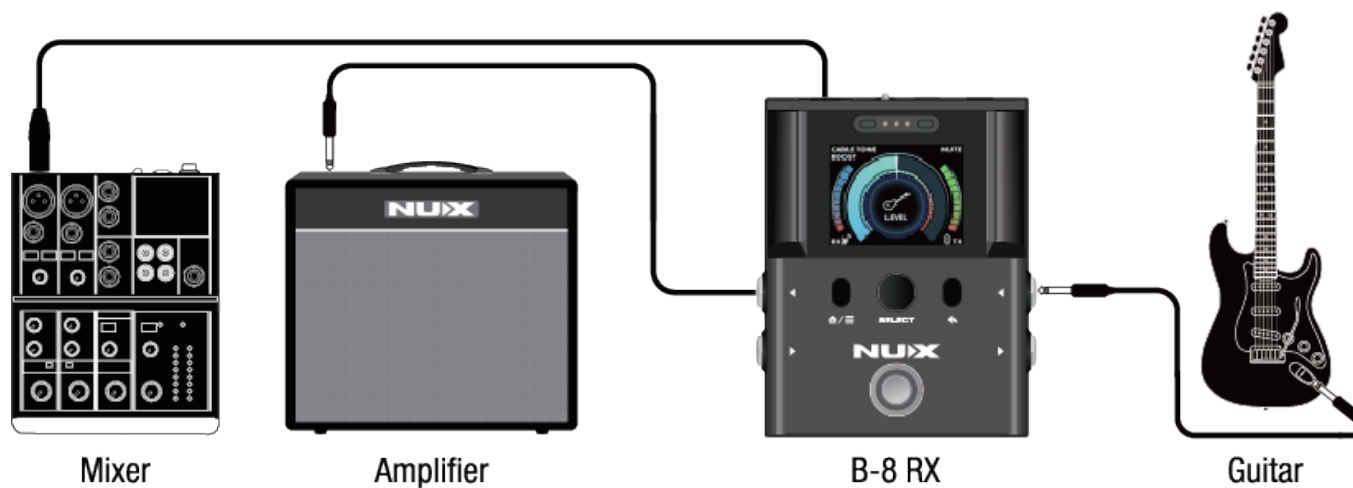
接続例

用途1

ギターを TX に接続し、RX をアンプかミキサー、またはその両方に接続します。



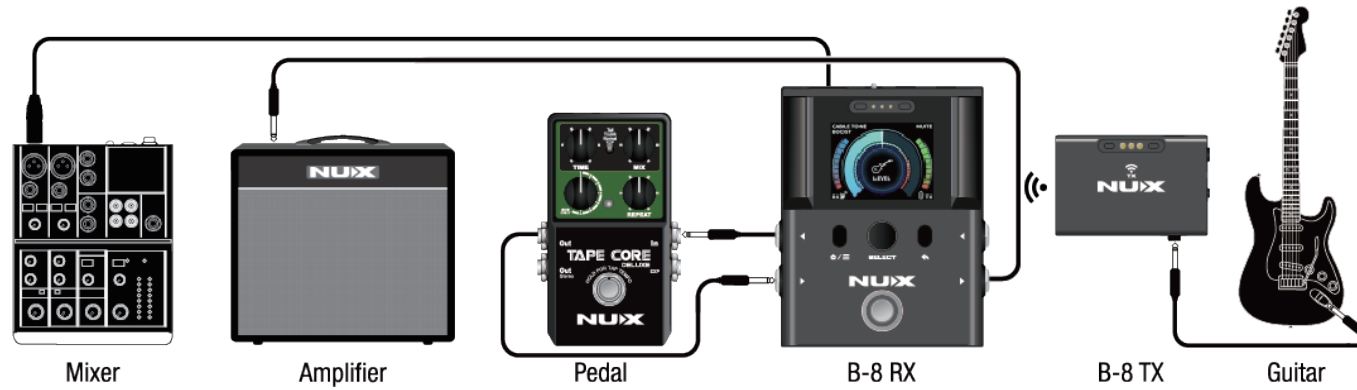
TX が電源 OFF の場合は、ギターを直接 RX の INPUT ジャックに接続できます。



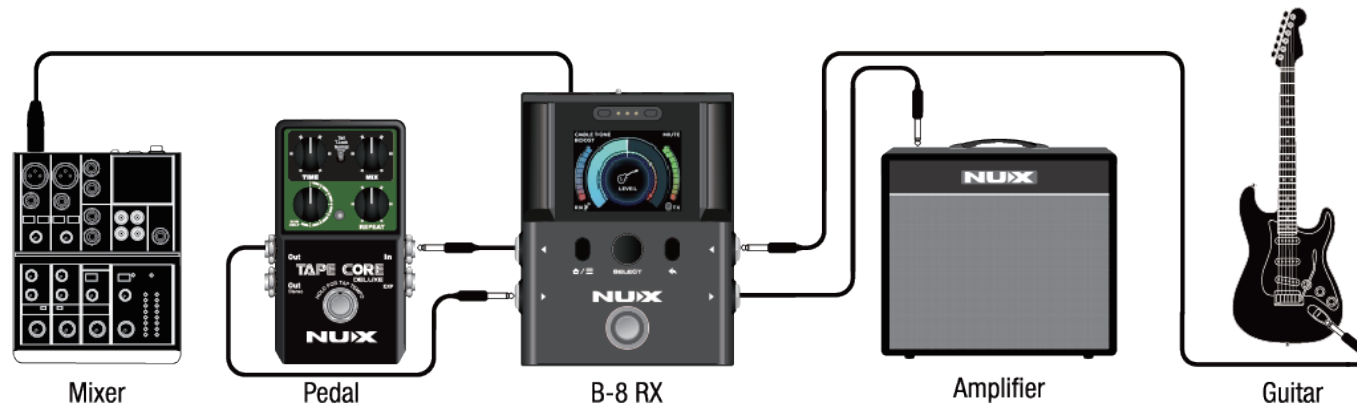
用途2

ギターを TX に接続し、RX をアンプかミキサー、またはその両方に接続します。

RX の SEND/RETURN ジャックを介してお気に入りのエフェクターをループさせることができます。



TX が電源 OFF の場合は、ギターを直接 RX の INPUT ジャックに接続できます。



TX を充電する

TX は 2 つの方法で充電可能です。

1. RX を使用して TX を充電する。

RX の電源を入れ、TX を RX の充電ポジションに置きます。TX の LED が点灯したら充電が開始された合図です。



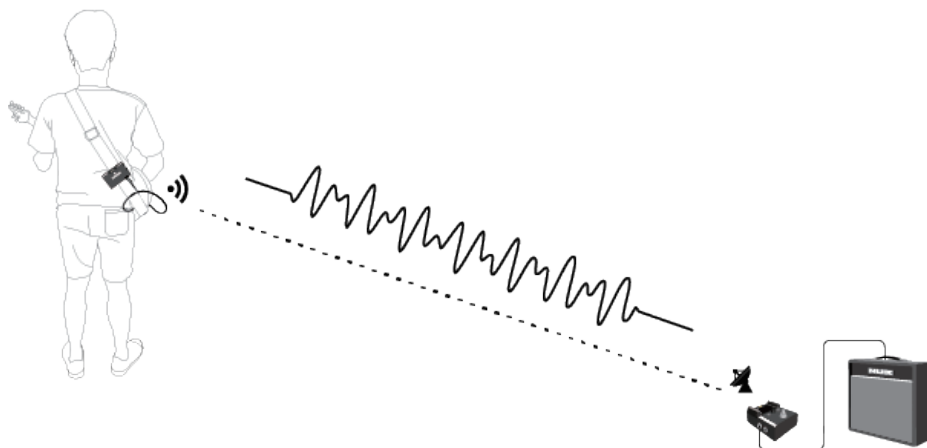
2. 5V/500mA 以上を給電できるアダプターを使用し、USB-C ポート経由で TX を充電する。



ワイヤレスシステムのパフォーマンスを向上させるためのヒントと方法

B-8 ワイヤレスシステムの使用中に干渉やドロップアウトが発生した場合は、以下の方法をお試しください。

- 周囲に Wi-Fi 機器があるかどうかを確認し、B-8 の TRANSMITTING を "low latency" と "stable" の間の最適な位置に設定してください。
- TX が十分に充電され、電源が入っていることを確認してください。
- TX と RX 間の見通し線上に大きな物体がないことを確認してください。
- TX と RX 間の距離を短くしてみてください。例えば、ステージ上で B-8 ワイヤレスシステムを使用する場合、RX をステージ上の TX の近くに置き、長いケーブルでミキサーやアンプに接続することで改善する場合があります。
- B-8 ワイヤレスシステムを 2 セット以上使用する場合は、2 セットの TX と RX をそれぞれ 1m 以上離してください。
- RX は、Wi-Fi アクセスポイント、コンピューター、Bluetooth デバイス、その他の有効になっている 2.4GHz 帯デバイスから遠ざけてください。
- 使用していないコンピュータ、携帯電話、その他のポータブルデバイスの Wi-Fi 設定は無効にしてください。
- B-8 の使用中は大容量ファイルのダウンロードや映画の視聴など、Wi-Fi 使用量の多い行為は避けてください。
- TX と RX を、金属やその他の高密度の物質が存在する可能性のある場所に設置しないでください。
- サウンドチェックの際、電波干渉が発生しやすい箇所などを事前に把握し、他の演者などにその場所を避けるよう依頼してください。
- 最もパフォーマンスを発揮できる電波距離は 10 ~ 35m の間です。
- 最適な使用方向は下図をご参照ください。RX と TX はプレイヤーの体によって遮られないようにしてください。



システム設定

ディスプレイ設定



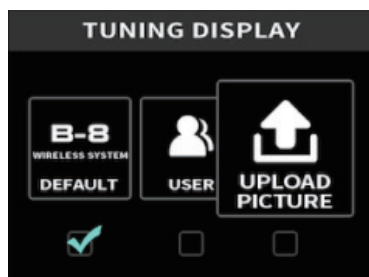
Boot-up 画像をカスタムする

以下の手順で GIF 画像をアップロードし、B-8 起動時の画像として設定することができます。

1. www.nuxefx.com から "NUX GIF Customizer" をダウンロードしてください。



2. "UPLOAD PICTURE" を選択 / 確定し、B-8 を USB 経由でコンピュータと接続します。



3. JPEG、GIF、PNG いずれかの形式の画像をアップロードし、アプリケーション上で編集します。



4. GIF をプレビューし、B-8 へアップロードしてください。



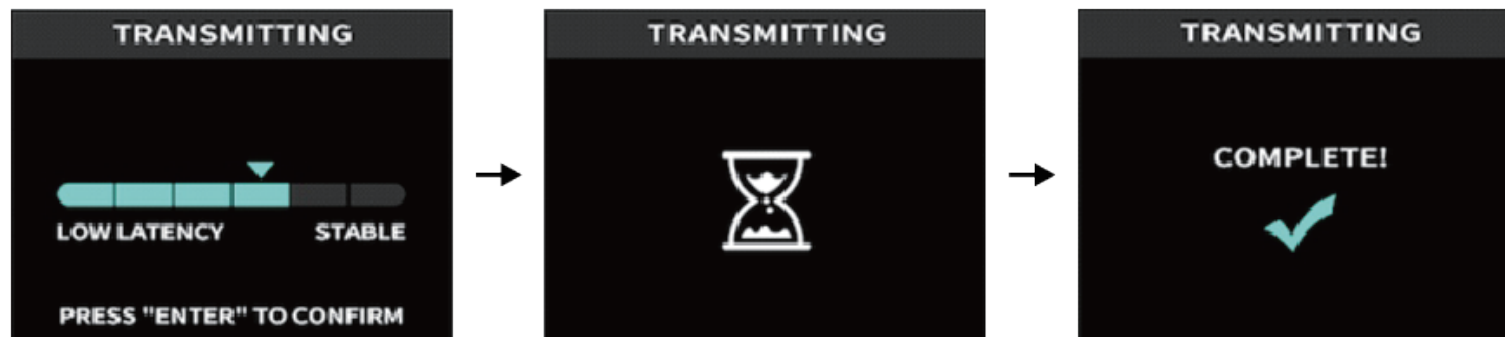
送信設定

送信パラメータは "LOW LATENCY" と "STABLE" の間で調整できます。

※左端に設定すると、レイテンシーが最も小さくなります。(約 2.5ms)

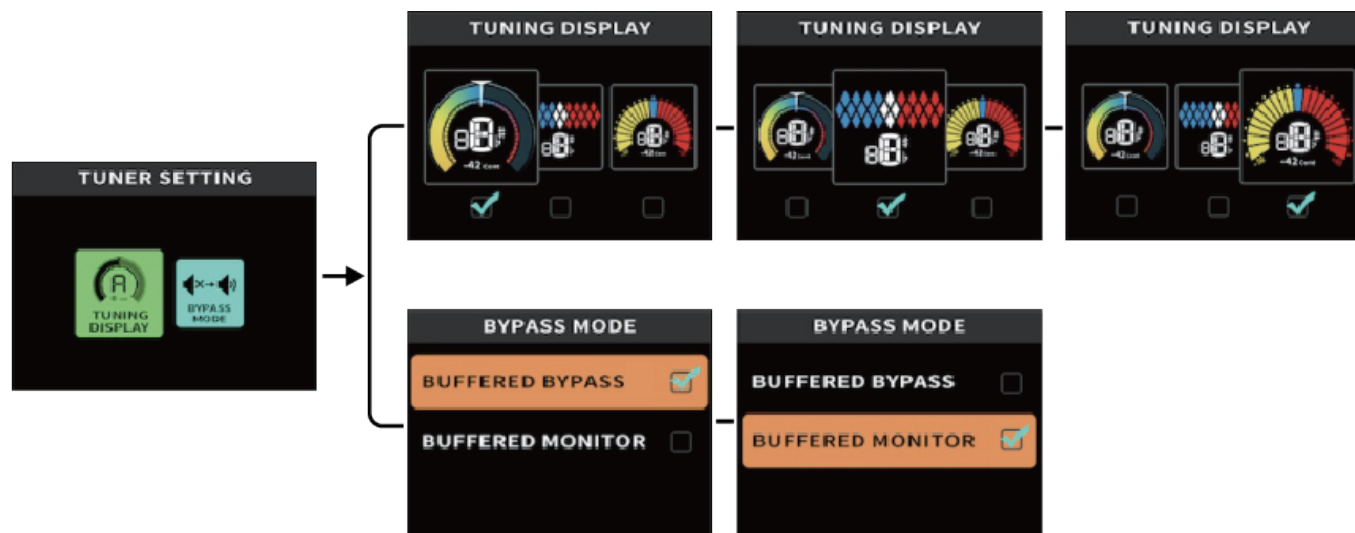
※右端の位置に設定すると、電波干渉防止に設定されます。これは、近くの Wi-Fi デバイスがワイヤレス伝送に干渉を引き起こす可能性がある環境で、より安定性を求めるユーザーのためのものです。この設定では、レイテンシーが少し長くなります。(約 8.7ms)

※最高のパフォーマンスを得るために、周囲に無線 LAN 機器があるかどうかを確認し、B-8 の送信を "LOW LATENCY" と "STABLE" の間の最適な位置に設定してください。



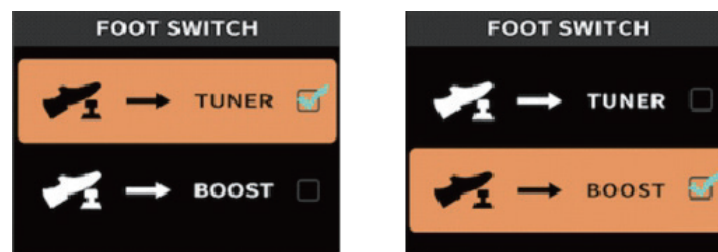
チューナー設定



1. チューニング時のディスプレイモードを3種類から選択できます。
2. チューニング時のバイパスモードを任意に選択できます。




フットスイッチセッティング

フットスイッチを押した際の機能を設定します。

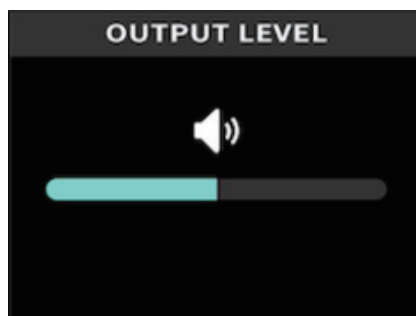


 → **TUNER**  を選択した場合は、フットスイッチを長押しすることでブーストを ON/OFF することができます。(ブーストアイコンがスクリーン上に表示されます。)

 → **BOOST**  を選択した場合は、フットスイッチを長押しすることでチューナーを ON/OFF することができます。

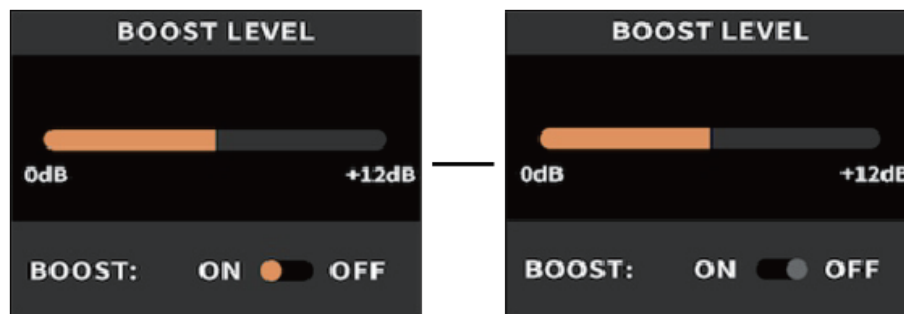
アウトプットレベル設定

出力音量を調整できます。



ブースト設定

ブースト時のブースト量を調整できます。

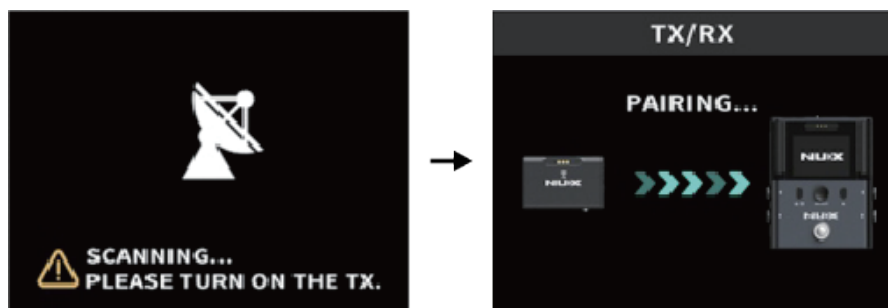


ID の再マッチング& 手動ペアリング

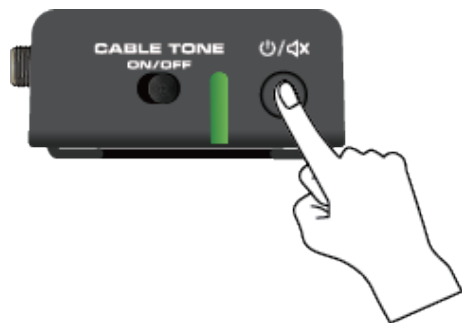
各 B-8 セットの送信機と受信機の ID は、工場出荷時にあらかじめマッチングされています。

しかし、何らかの理由で ID を再マッチングしたい場合や、異なるセットの受信機と送信機をペアリングしたい場合は、以下の手順に従ってください。

1. TX を切った状態にしておきます。RX の電源を入れると、画面に SCANNING... と表示されます。この状態でフットスイッチを 2 秒間以上長押しすると、画面に以下のように "PAIRING..." と表示されます。



2. TX の ON/OFF ボタンを 4 秒間以上長押しすると、TX の LED ライトが緑色に点滅し、TX と RX がペアリングを開始します。



3. ペアリングが正常に完了すると、スクリーンに "PAIRED" と表示されます。



4. もし 2 台以上の B-8 をお持ちで、それらの再ペアリングを行いたい場合は、必ずすべてのユニットの電源を切った状態で 1 台ずつ行ってください。

技術仕様

- 周波数帯域：2400 - 2483.5MHz
 - オーディオ品質：24bit/48kHz
 - 周波数特性：20Hz - 20kHz
 - レイテンシー：2.5ms(Low Latency Setting) - 8.7ms(Stable Setting)
 - 入力インピーダンス：1M Ω
 - 最大入力レベル：1kHz@1% THD +6.2dBV(5.78Vp-p)
 - THD+ ノイズ：0.01%@1kHz
 - ダイナミックレンジ：122dB, A-weighted(OUTPUT/SEND)
 - 最大出力レベルレンジ：Mute -64 ~ 0dB
 - オートスリープモード：N/A
 - TX バッテリーキャパシティ：3.7V/500mA 充電式リチウムポリマーバッテリー
 - バッテリー連続駆動時間：最大 6 時間
 - 電源要件：7 - 12VDC 500mA 以上、センターマイナス電源アダプター
 - 伝送距離
 - 屋内：最大 60m(200 フィート)
 - 屋外：最大 50m(165 フィート)
- ※電波干渉の無い空間での使用を想定した理論値となります。
- TX サイズ：49.3 x 23 x 72.5 mm(W x H x D)
 - TX 重さ：63 g
 - RX サイズ：95 x 60 x 122 mm(W x H x D)
 - RX 重さ：500 g

付属品

- 6.35mm - 3.5mm オーディオケーブル (TX 用)
- USB-C ケーブル
- マニュアル
- Warranty Card
- NUX ステッカー

※付属品や仕様は予告なく変更される場合があります。

NUX 輸入販売元

株式会社エレクトリ

HP:<https://www.electori.co.jp/>

※本ドキュメントの弊社以外のサイトや SNS における 2 次配布は禁止致します。
また、弊社の許可なく本ドキュメント内の表現、データを使用することを禁止致します。